

[8月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

小二  
こいけりみ

たゆ  
か

小池蹊舟先生

幼・小学1年参考手本

小一  
ささきかな

め

工藤永翠先生

小二  
谷川心

ぎさかな

崎井惠風先生

小一  
かんのさなえ

せ  
み

武山櫻子先生

〔8月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

月夜

小四  
三田洋子

川島舟錦先生

小学3年参考手本

工作

小三  
山下洋子

弓削光峰先生

小四

黒川玉代

花火

山口仙草先生

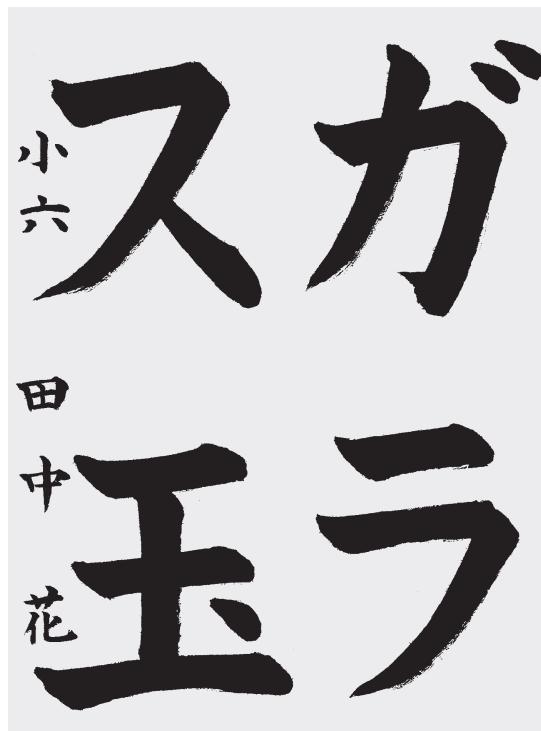
冰かき

小三  
吉田美里

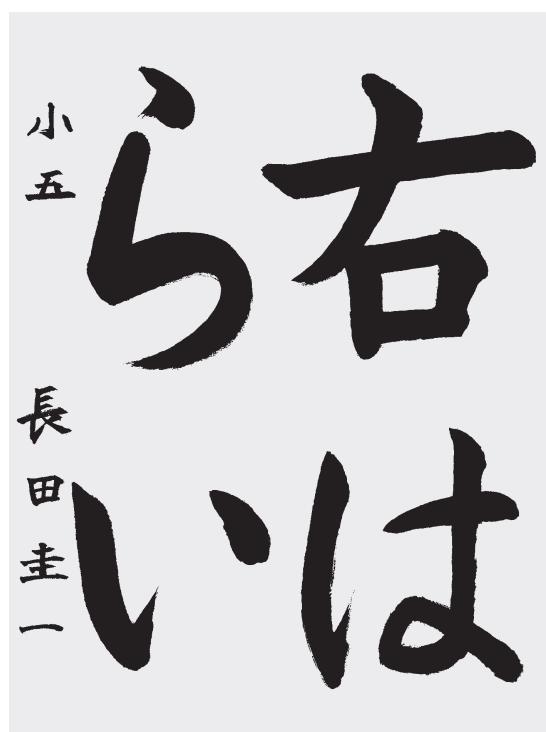
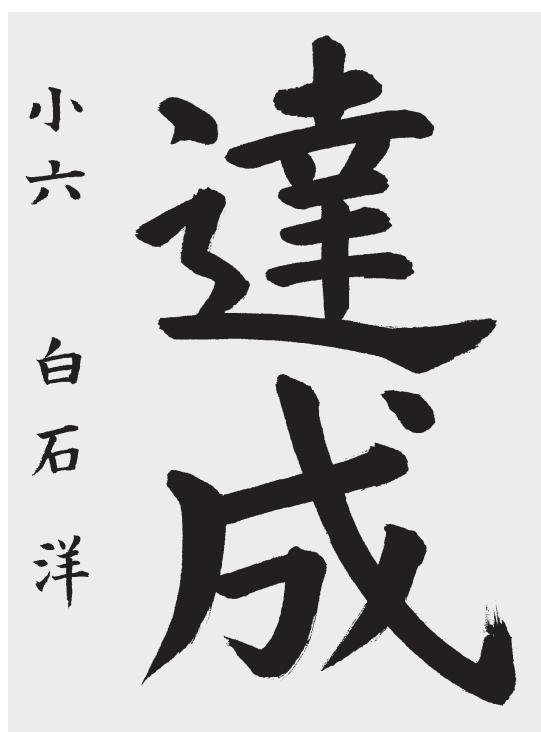
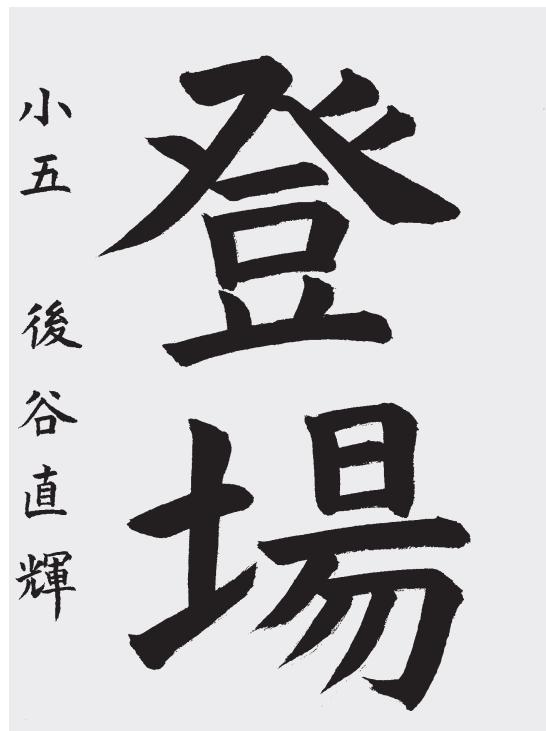
島田白露先生

〔8月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

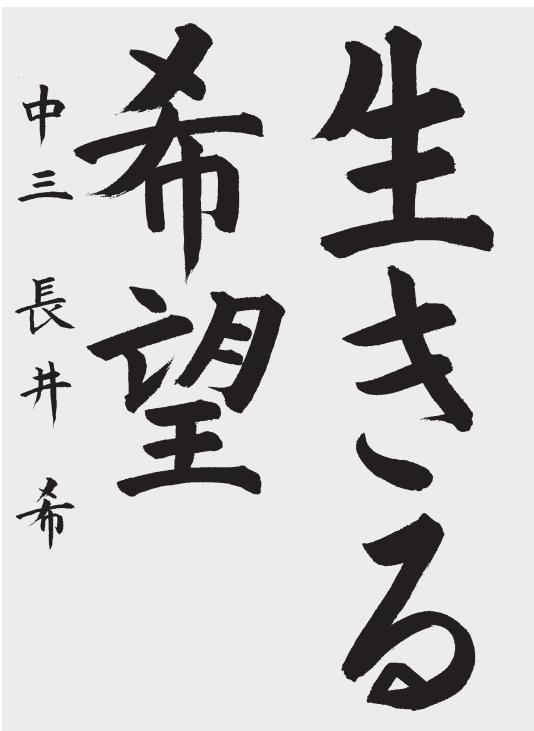


小学5年参考手本



〔8月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



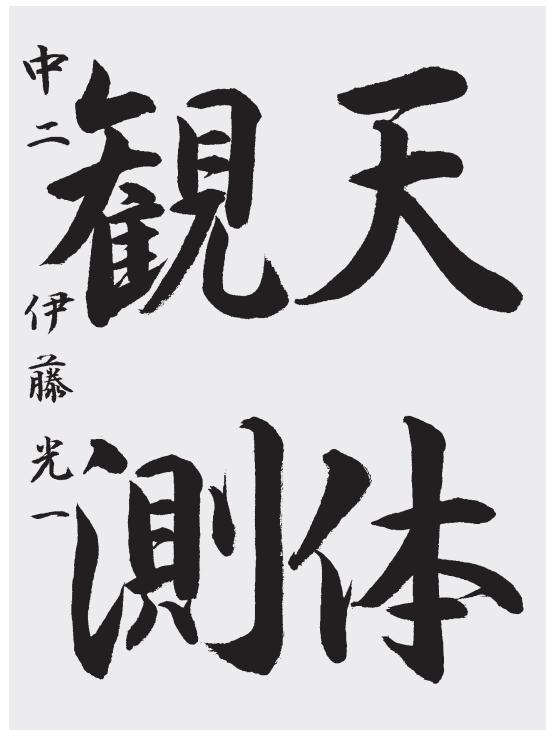
種谷萬城先生



辻元大雲先生



石井明子先生



小竹石雲先生



毛筆參考手本解說(2)

6  
年

中  
学



最大幅で上にそらす



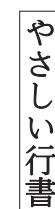
〔説容〕



一度止めてからはらう  
「幸」は文字の  
中心より右側に



許容  
方向  
折れ  
払い



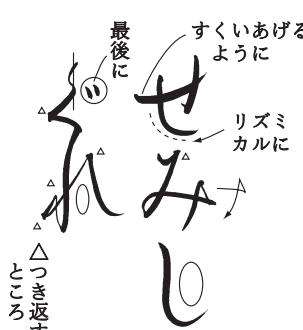
上亡亡月亡望



卷之三



筆順



The image shows a large calligraphic character '観' (Kan) in black ink on a white background. Four arrows point to specific parts of the character: one from the top left to the top horizontal stroke, one from the top right to the bottom horizontal stroke, one from the bottom left to the vertical stroke, and one from the bottom right to the middle vertical stroke. To the left of the character, the text '線の連続' (Line Continuity) is written vertically. To the right, the text '連続させて折り返す' (Fold back while maintaining continuity) is written vertically. Below the character, the text 'つながる 気持ちで' (Feel connected) is written vertically.



終筆の変化

# ひらがな の 字 源

(357)

書写教育

れ	く	し	み	せ	
礼	久	之	美	世	源字
社	久	々	羨	世	形
れ	く	し	み	せ	や

\* 源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して()にその字体を記した。  
字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

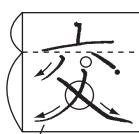
[8月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

支部名	地		た	か	か	き	あ
段・級	図		か	ら	ま	つ	つ
学年	を		さ	し	し	く	く
二	交		が	し	ま	て	て
名前	か		の	め	し	あ	あ
千谷心夏	ん		絵	た	た	せ	せ
	し		。			。	
	た						

支部名	を	か	か	き	ま	し	た
だん・きゅう							
がくねん							
一							
なまえ							
つぼいあんり							



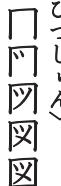
交  
そろえる  
まじ  
わる位置



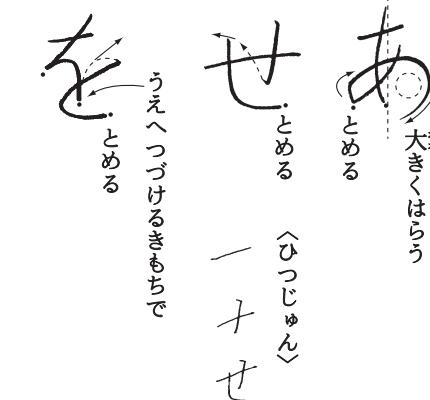
之  
たてが出る  
ひつじゅん



絵  
の字形を正しく、つりあいよく書きましょう。  
「とめ」「はらい」にちゅうういして  
書きましょう。



父  
左 右 の はらい  
を て い ねい に  
○あける



『あせ』  
「とめ」「はね」「はらい」をたやすくかきま  
しょう。

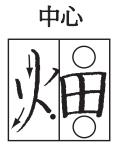
[8月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	虫	て	田
段・級	が	い	や
学年	や	る	畑
四	つ	と	で
名前	て	、	作
板倉周平	く	い	物
	る	ろ	を
	。	い	育
		ろ	て
		な	

支部名	の	行	列	を	見	か	け	た	。
段・級	の	の	の	の	の	の	の	の	。
学年	三	行	列	を	見	か	け	た	。
名前	東	列	を	見	か	け	た	。	。
	真	の	の	の	の	の	の	の	。
	夕	の	の	の	の	の	の	の	。
		の	の	の	の	の	の	の	。
		の	の	の	の	の	の	の	。
		の	の	の	の	の	の	の	。
		の	の	の	の	の	の	の	。



『田畑の虫』  
漢字の組み立てに気をつけてつりあいよく  
書きましょう。

二画目を長く書く

「勿」ななめ分間に気をつける

火(ひへん)の三画目のはらい  
の方向に注意



『ありの行列』  
庭の字形を正しく整えましょう。

はらう方向に注意  
ひつじゅん  
一 广 広 庭 庭

「へん」が大きい

「へん」と「つくり」  
氣をつけましょう。

广(まだれ)  
厂(がんだれ)  
广(やまいでれ)

「つくり」が大きい  
たれ

はらう方向に注意  
ひつじゅん

[8月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名	築の正倉院がある。	世界的に有名な木造建	東大寺の林のおくに
段・級			
学年	六		
名前	日下部 桜		

支部名	と活動を始める。	ていて、夕方暗くなる。	ムササビは昼間はね
段・級			
学年	五		
名前	吉田まりあ		



曲がり  
△(いまとへん)



払いの方向



へん・つくりの幅  
とめて右へはらう  
△(よう) 反(えんによう)  
△(しんによう)  
走(そうによう)

『正倉院』

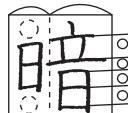
の字形を正しく整えて書きましょう。



横が出る  
△(さんずい)の形



△(さんずい) 最後の画の方向と長さ大切  
立てるに注意して書きましょう。  
△(さんずい) 立てに注意して書きましょう。  
△(さんずい) 立てに注意して書きましょう。



△(さんずい) 「日」の大きさと位置

△(さんずい) 「ムササビ」  
△(さんずい) 「へん」と「つくり」のゆずりあいを理解  
△(さんずい) して字形を整えましょう。

[8月6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

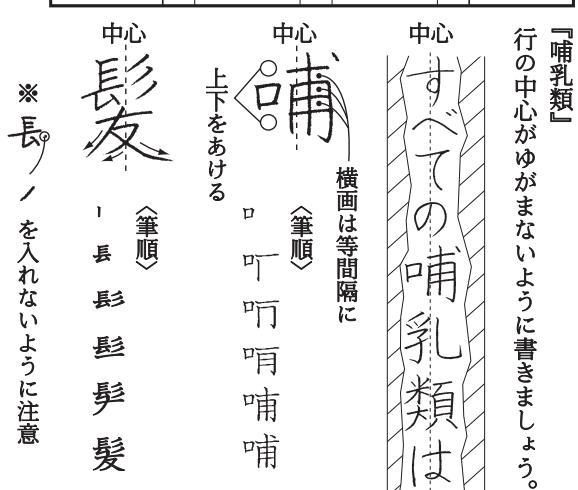
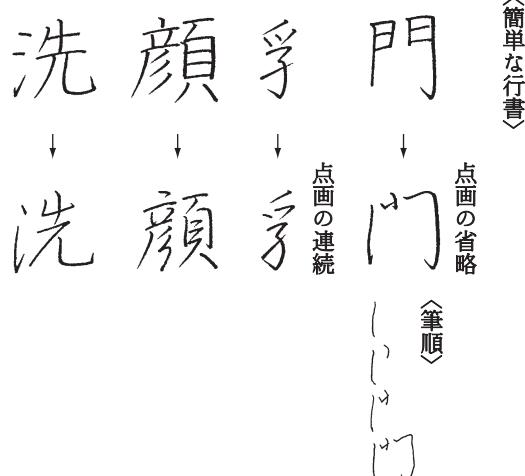
\*書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	
段・級	
学年	
中一	
名前	
原 賢志郎	

すべての哺乳類は毛づくろい  
を使つて髪の毛をとかします。  
をします。人間も顔を洗い、くし  
を使つて髪の毛をとかします。

支部名	
段・級	
学年	
中一	
名前	
原 賢志郎	

すべての哺乳類は毛づくろい  
を使つて髪の毛をとかします。  
をします。人間も顔を洗い、くし  
を使つて髪の毛をとかします。



# これからのお作品締切日と課題

令和3年9月号～4年2月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5  
集て遠足しました。  
しま級と工場見学を特し

幼・小1  
しつぽです。  
こかれはうまの

小 2  
きゅううこんは、土  
の中でねを出します。

小 3  
から帰つてきた。  
ボチと兄はさん歩

小 4  
には、木登り始  
まぼりにましまし  
のまぎたの喜び  
まにうまいまい  
まにうまい喜び  
まにうまいまい喜  
まにうまいまい作

小 6  
よう建設的な意見をつけています。  
う議長の指示によ  
う気長の意見を述べ  
う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。

中学生

中国地方の山懐に抱かれた津和野は、山陰の小京都ともいわれる落ち着いた城下町である。

## 9月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

※一部課題を変更いたしました。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小1	締切日
虫鳴く夜	交流	防災	満月	秋風	星	えいが	9月6日 9月
えみしな	不言実行	敬老の日	ポスター	大海	王さま	みのり	9月6日 9月
の秋晴れ	趣味	調査	主人公	区間	十月	川	10月5日 10月
かふじば	宇宙開発	演奏会	金魚	研究	白玉	ぶどう	10月5日 10月
実努力は	能筆	晚秋	大使館	成長	光	メロン	11月8日 11月
月さゆる 月かけげる	公平無私	貿易港	豊作	ワクチン	文化	きずな	11月8日 11月
の自然と の調和	電波	雪国	子守歌	注文	冬山	そば	11月8日 11月
もり	大つご	武道館	師走	絵本	花たば	テレビ	11月8日 11月
強い決意	改善	千鳥	賀正	お年玉	学ぶ	てまり	12月6日 12月
ゆぼきたん	温故知新	富士山頂	計画案	新年	元日	カルタ	12月6日 12月
二東大寺 二月堂	樹氷	建築	寒風	立春	豆まき	ソリ	1月10日 1月
のい宿でゆ	窓の景色	月面着陸	活性化	雪原	外国	あられ	1月10日 1月
						おに	2月7日 2月

# 書写を知り 学び楽しむ



廣瀨舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

「様」の楷書体の書き方は、実は三種類あるといふことをご存じですか。

Aは、今日一般的に見られる新字体です。Bは、旧字体で旁の下部が「永」となっていることから「永様」と呼ばれます。私の小さい頃、明治生まれの祖父からはこの字形で手紙が届きました。今日では、漢和辞典には旧字体として掲載されていますが、世間ではあまり見かけなくなりました。

字となっています。ですから今日の字典に、Cの「次様」はあえて掲載されなかつたのではと思われます。Cを異体字として加えてもいいのではと思いますが、あえて外された理由を推測すると、中国（六朝時代ごろ）でのCの使用例があつたかどうかなのでは？…今後さらに追究してみる必要があると思いました。

ところで現在のように通信機器が発達する以前の連絡は、主として手書きの手紙でした。やえに私たちの祖先が日常で書いた手紙は古文書となつてたくさん残されています。これらを拝見すると「様」をくずして書いた書き方の種類が非常にたくさんあることが判ります。AとBしか知らないかった時、どうしてDの四番目のような字形のつづけ字が現れたのか疑問に思つていましたら、Cの存在を知り謎が解けました。また我が国において「様」の字形（くずし方）にも表のD（江戸中期の冊子より）のように高下があつたことが判り、それより我が国において古くは「次様」が「極々上々」と最上位にされていった時代があつたことに驚きました。

<p>D</p> <p>様</p> <p>● 宛名敬称 「様」の高下</p>
<p>B</p> <p>様</p>
<p>C</p> <p>様</p>

# 今月のホープ



中三田村望桜（若葉会支部）

大きな構えでのびやかな表現です。行書のリズムが紙面に動きを感じさせてくれます。名前も落ち着いて立派です。

支部名	桐の会	段・級	学年	氏名

に  
の  
び  
て  
い  
ま  
す。  
城  
を  
中  
心  
と  
し  
て  
放  
射  
状  
私  
た  
ち  
の  
市  
の  
道  
路  
は

小六須藤芹梨（桐の会支部）

一画毎に確かな字形・運筆のリズムで書かれています。漢字・かなのバランスもよく落ち着いたすばらしい作品です。



小三神作太郎（房州支部）

から  
力  
ひつしゅうひつ  
いっぱい引いた線は雄大で、始  
ひいねい  
せん  
筆終筆がとても丁寧で余白の美し  
よはく  
うつく  
ゆうだい  
し  
いい作品です。作品に合わせた名前も  
さくひん  
さくひん  
なまえ  
なりぱ  
りぱ  
立派です。

支部名	光昭	段・級	学年	名前

み  
ち  
ば  
た  
の  
草  
に  
も  
名  
が  
あ  
り  
ま  
す。

小二高田真知（光昭支部）

てほん  
お手本をよく見て、しっかりと丁寧  
に書けています。枠の使い方も上  
手で、かなのバランスが特に素晴ら  
しく見事です。

# 春季昇段級試験最優秀作品



のびやかなリズムで、行書表現をしきりに書いた作品。名前も堂々と安定した書きぶりで、見事です。

支部名 若葉会支部	ツバキはもともと南方系の植物ですが、暖かい海流のおかげで青森県が北限となっています。
段・級 準特	
学年 中三	
氏名 田村 望桜	

明るくさわやかな運筆で字間と余白のとり方がすばらしいです。安定した字形と鍛錬した筆脈がとても魅力的です。

中三 小曾根咲妃（和賀書支部）



しっかり安定した筆使いで、紙面にバランスよくまとまった作品です。名前もていねいな気持がこもっています。

中三 田村 望桜（若葉会支部）

支部名 竹の子	は、	シスターといふ英語
段・級 六	日本語の姉・妹の	
学年	どちらにも使えます。	
氏名 青柳 優莉香		

堂々とした運筆で線に安定感があります。心を込めて一心に練習した姿が各文字に表れ、生き生きとした見事な作品。

小六 山本陽天（東葉支部）

小六 青柳 優莉香（竹の子支部）

## 第75回記念書道芸術院展併催

# 第73回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会期 令和4年2月5日(土)～2月11日(金・祝) 9:30～17:30

※2月7日(月)休館日 (入場は30分前まで)

ただし、2月11日は14:00まで (入場は30分前まで)

会場 東京都美術館(東京都台東区上野公園)

参加資格 第1部 幼児・小学生

第2部 中学生

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

(前回までの大賞受賞者は、同一部門内(例 第1部小学生部の内)においては招待出品とします。出品料は無料)

部門 ① 半紙部門(たて34cm よこ25cm)

② 半切1/2部門(70cm×35cm)

(どちらの部門にも出品できます。)

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人何点でも出品できます。</li> <li>団体、個人とも10点以上で参加できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人3点まで出品できます。</li> <li>団体、個人とも1点以上で参加できます。</li> </ul>
※半紙と半切1/2のどちらかが規定数に達していれば出品できます。		
出品料	• 1点 500円	• 1点 1000円 (一人3点まで)
募集作品	<ol style="list-style-type: none"> <li>書写、書道作品、字句は自由</li> <li>毛筆、硬筆など表現自由。</li> <li>幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u></li> <li>高校、大学生は落款の体裁を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>幼児・小・中学生は<u>別紙規定課題</u>または<u>自由課題</u>自由課題…2文字、学年で使用するもの。</li> <li>高校、大学生は<u>課題自由</u>（創作または臨書）</li> <li>幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u></li> <li>高校、大学生は落款の体裁を整える。</li> </ol>
作品大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通の半紙版以内(たて長使用) (たて34cm よこ25cm以内) (この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小画箋半切1/2以内(70cm×35cm)</li> <li>幼児・小・中学生は縦長使用に限る</li> <li>高校・大学生は縦横自由（創作臨書自由） (この大きさ以内のものは半切1/2に糊付)</li> </ul>
出品要領	<ol style="list-style-type: none"> <li>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</li> <li>作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>(①～③は内申上位1割について記入)</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号</li> </ol> <p>※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>同一人の作品は左上をゼムクリップ止め</li> <li>作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>(①～③は内申上位1割について記入)</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号</li> </ol> <p>※3点出品の場合も1枚ごとに記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>

作品締切・搬入 日時 令和3年(2021年)10月25日(月)

場所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階  
書道芸術院内 全国学生書道展事務局

# 「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

## ・出 品 資 格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

## ・会 期

- ・令和4年2月5日(土)～2月11日(金・祝)

## ・会 場

- ・第73回全国学生書道展会場  
(東京都美術館)

## ・作 品 寸 法

- ・半紙額内自由  
(額内寸 50 × 38 cm 以内)  
(タテ・ヨコ自由)

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

## ・マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

## ・出 品 料

- ・15,000 円

(1人1点、表装料・返送料含む)

## ・出 品 手 続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ送付する。
- ・必要な方はご請求ください。

## ・出 品 締 切

- ・令和3年10月25日(月)  
(学生展作品と同じ)

## ・詳しく述べは別紙要項をご覧ください。

## ◇ お 知 ら せ ◇

### ・事務所の夏季休暇は

**8月12日(木)～16日(月)**とさせていただきます。  
よろしくお願ひいたします。

※7月・8月の祝日が、オリンピック開催のため、変更になっております。  
事務所も休業日となります。

7月22日(木) 海の日

7月23日(金) スポーツの日

8月8日(日) 山の日 ※8月9日(月)振替休日

公益財団法人 書道芸術院

令和		
年	月	日

## ◇ 登 錄 用 紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月1 5日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

## ◇ 部数変更届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月1 5日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

9月号毛筆参考手本（予告）9月6日締め切り分

幼・1年

よ

うだふうな

2年

りみの

小二  
山田あさ

がえい

小二  
山口みく

3年

星

小三  
和田くるみ

4年

秋風

小四  
石田太郎

5年

満月

小五  
赤井和美

6年

防災

小六  
山中洋子

交流

中一  
松田 愛

実行

中二  
久山智子

中学

おみな

中三  
太田みどり

虫鳴

中二  
平田進市

○春季昇段級試験の最優秀作品を掲載いたしました。また、特待生に合格した方の名前も載せてあります。おめでとうございました。

○審査長の辻元大雲先生より春季昇段級試験の總評を頂きました。良く読んで今後の学習の参考にしてください。皆さんの一層の上達を願つております。

○全国学生書道展の作品募集規定（抜粋）を掲載いたしました。半紙部門と半切二分の一部門があります。間もなく皆さんのお手元に要項が届く予定です。規定をよくお読みください。

○6月14日に関東甲信地方で梅雨入りしました。また6月21日は夏至でした。太陽の日没が最も北に寄り北回帰線の真上までやってきて一年中で屋間が一番長い日です。東京での屋間の長さが冬至に比べると4時間50分も長いとのこと。この時間には驚きました。梅雨の最中、ということもあり、雨や曇りの日が多く、それほど長くは感じないかもしれません。

（葉扇）